

平成 29 年度事業報告

事業は、基本的に第 18 回理事会において承認され、第 6 回通常総会に報告した平成 29 年度事業計画に基づき実施した。詳細は以下のとおりである。

I 会議

1 総会

第6回通常総会

日 時 平成 29 年 6 月 7 日 午後 3 時～4 時 30 分

場 所 東京都荒川区東日暮里 5-50-5 ホテルラングウッド

出席会員数 52 名(委任状とも)

議決事項

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告及び計算書類承認に関する件

第 2 号議案 役員報酬に関する件

以上の議案はいずれも異議なく承認された。

報告事項

(1) 平成 28 年度公益目的支出計画実施報告書に関する件

(2) 平成 29 年度事業計画及び収支予算に関する件

2 理事会

第 19 回理事会

日 時 平成 29 年 5 月 10 日付け 会長による書面理事会提案

平成 29 年 5 月 18 日 理事会の決議があったものとみなされた。

議 案

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告及び計算書類の承認

第 2 号議案 平成 28 年度公益目的支出計画実施報告書承認に関する件

第 20 回理事会

日 時 平成 29 年 6 月 7 日 午後 2 時 30 分～2 時 50 分

場 所 東京都荒川区東日暮里 5-50-5 ホテルラングウッド

議 案

第 1 号議案 第 6 回通常総会招集に関する件

第 2 号議案 通常会員入会に関する件

報告事項

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

第 21 回理事会

日 時 平成 30 年 3 月 23 日 午後 1 時～2 時

場 所 東京都荒川区東日暮里 5-50-5 ホテルラングウッド

(議案)

第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び収支決算報告(見込)に関する件

第 2 号議案 役員報酬に関する件

第 3 号議案 平成 30 年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件

第 4 号議案 第 7 回通常総会招集に関する件

第 5 号議案 役員の任期満了に伴う役員の改選に関する件

(報告事項)

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

II くん蒸技術の普及及び安全対策事業

1 倉庫等くん蒸作業者の安全対策事業

- (1)安全対策委員会を開催し、植物検疫くん蒸における作業の安全等について検討するとともに、情報収集・提供を行った。
- (2)臭化メチル中毒診断治療小委員会を引き続き設置した。「臭化メチル中毒患者に対する処置について」の小冊子を講習会等を通じ関係者に配布した。
- (3)全国 9 ヶ所で植物検疫くん蒸作業主任者及びくん蒸関係者に対する講習会を実施した。

2 土壌くん蒸安全対策事業

土壌くん蒸薬剤について、安全かつ適切に使用するため、クロルピクリン剤の重点県については巡回指導員の研修を実施する等、指導の充実に努め事故防止の徹底を図った。

3 くん蒸技術の普及事業

新しく開発されたくん蒸技術に関し、その的確・安全な使用の普及を図った。本年度は、昨年に引き続き栗生果実のくん蒸におけるヨウ化メチル剤の適切な使用を普及するため重点的に取り組んだ。

また、「国際基準 No.15」で規定されている輸出梱包用木材に関する臭化メチルくん蒸による消毒について、適切に処理できるよう関係者に対する講習会を実施した。

III くん蒸等防除技術の開発・調査事業

1 倉庫等くん蒸技術開発・調査事業

- (1)輸出入植物検疫処理の円滑化等に資する新たなくん蒸技術の確立事業(平成 29 年度農業・食品産業科学技術研究推進事業):日くん協、(国研)果樹研、輸出果実生産6県による共同試験事業
 - 輸出果実のくん蒸消毒:ヨウ化メチル、リン化水素による殺虫基準を作成した。
 - リン化アルミニウム剤によるサイロ内空中投薬技術を開発した。
- (2)植物検疫に係る臭化メチルくん蒸の代替薬剤開発事業(ヨウ化メチル登録データ整備及び

投薬機開発) (平成 29 年度農林水産省委託事業)

農薬残留基準見直しに伴う物流への影響を考慮し、臭化メチル代替剤としてヨウ化メチルの農薬登録に対象植物を追加するため、必要データを整備するとともに、くん蒸倉庫用の投薬機を開発した。

(3) 植物検疫において使用することを目的としたガス測定機器の性能試験を実施した。

2 農薬用保護マスク研究調査事業

(1) 農薬用保護マスク研究会の事務局として、農薬散布者の健康安全を確保するため、「農薬散布に使用するマスクの手引き」(14版)及びチラシの作成及び配布を行うなど農薬用保護マスク適正使用の普及を図った。

(2) 県、JA 等が実施する農薬安全使用講習会等にマスク専門家を講師として派遣し、マスクフィッティングテスターを用いたマスク適正着用講習を実施した。本年度は、17 都道府県 37か所約 4,500 人(昨年:14 都県 21 カ所で約 1,600 人)を対象に実施した。このうち、8カ所(1,038 人)は(公社)緑の安全推進協会が実施する緑の安全管理士更新研修に派遣した。

(3) 登録されている全ての農薬ごとにその使用に適したマスクの種類が分かるように作成した検索用ファイルを当会ホームページにおいて公開し、更新(第4版)した。

3 蒸熱消毒研究調査事業

蒸熱消毒研究会を開催し、輸入禁止植物の条件付き輸入解禁品目の輸入状況、解禁手続きの進捗状況、蒸熱消毒に関する国際基準などの情報提供及び意見交換等を実施した。

IV その他の事業

1 梱包材等輸出検疫関係事業

(1) 輸出梱包材のくん蒸消毒証明について、(一社)全国植物検疫協会と協定し防除業者の認定審査、技術指導等の事業を実施した。

(2) ニュージーランド(NZ)向け輸出中古車の消毒証明に関して情報収集を行うとともに、熱処理による消毒証明等の事業化に向け、本年度は植物寄生菌の消毒方法の調査・検討を行った。

2 広報活動

(1) 機関紙「日くん協だより」を4回発行するとともに、「くん蒸の理論と実際」等の各種講習会用テキスト、くん蒸剤安全性に関するパンフレット等を印刷発行した。

(2) くん蒸作業安全教育及び農薬の安全性等についてのDVD等の貸出しを行った。

(3) 当会ホームページ(URL:<http://www.nikkunkyo.or.jp>)を運営し、くん蒸技術の普及等を行った。

3 調査

安全で効果的かつ経済的なくん蒸技術と大気保全に係る内外の情勢等について情報の収集を行い、一部は機関紙「日くん協だより」に掲載した。

4 くん蒸用供試虫、供試菌の提供及び効果判定

くん蒸用供試虫の飼育・提供、くん蒸効果確認及びくん蒸消毒実施証明を行った。また、殺菌効果判定用供試菌についても培養・提供・効果判定を行った。

本年度は、供試虫、菌の提供サンプル数はそれぞれ628件(昨年719件)、597件(同662件)で、効果判定についてはそれぞれ178件(同187件)、170件(同181件)となった。

- 5 (独)国際協力機構(JICA)が実施する2017年度課題別研修「ミバエ類温度処理殺虫技術」コースに関する業務について、平成29年4月、JICA 沖縄国際センターと研修受託契約を締結し、5月から9月までの間、インドネシア、タイ、マレーシア及びミャンマーの4カ国6名の研修員を対象に那覇植物防疫事務所で実施される当該研修を運営した。また、関東及び関西への研修旅行では、関係官庁、植物検疫・物流施設などに引率し、研修員のサポートを行った。

6 その他

- (1) 植物検疫に係る防除に関する情報及び農林水産省等からの連絡文書等、必要な情報の収集及び提供を行った。
- (2) 国際関係事業として、検疫処理技術の国際基準化等に関する検討会へ参加し、提言した。
- (3) 平成26年1月20日に施行された「産業競争力強化法」に基づく審査証明機関として、新たに導入されたくん蒸設備が優遇税制の適用対象になるかどうかについて審査し、証明書(1件)を発行した。また、平成28年7月1日に施行された固定資産税の優遇等を目的とした「中小企業等経営強化法」に基づく審査証明機関として、2件について証明書を発行した。
- (4) 公益法人改革関連三法の施行に伴い、公益目的支出計画を作成し、平成24年度から計画に従って適正に支出していることを毎年内閣府に報告し審査を受けてきたが、当初の計画どおり平成28年度末をもって完了した。このため、平成29年6月、平成28年度の実施状況報告とともに支出計画の完了確認請求を行ったところ、平成29年12月、当会の公益目的支出計画が完了したことを確認した旨の確認書が送付された。

V 会員数

	通常会員	特別会員	賛助会員
平成29年4月1日現在	51	1	41
平成30年3月31日現在	50 ¹⁾	1	40 ²⁾

1) 退会 : 平成29年9月30日 富山港湾運送(株)

2) " : 平成29年4月30日 (株)日立プラントサービス